

○午後1時開会

○的場慎一議長 皆さま、こんにちは

ただいまから第13回堺市議会 議会報告会を開催させていただきます。

私は、堺市議会議長を務めております的場慎一でございます。

よろしくお願いいたします。

本日は皆様におかれましては、大変お忙しい中、議会報告会にご参加いただき心より感謝申し上げます。

初めに、能登半島地震におきまして、被災された皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

被災地が1日も早く復興・復旧に向かいますことを心よりお祈り申し上げます。

今回のように大規模災害が発生したときに、地方の公共団体はですね、災害の応急対策や復旧・復興対策の主体として重要な役割を担うことになります。

堺市議会では、そのような災害時でありましても、行政が停滞することなく、迅速に対応しなければならない業務を継続的に実施できるよう、堺市議会業務継続計画、こういうものを定めておりまして、行政と協力し合って共に災害対応に努めていくことになっております。

また、この堺市議会は全国の政令市の中でも先駆けて、様々な議会改革を進めてまいりましたし、今現在でもICTを始め最新技術を意欲的に導入いたしまして、全国の政令市に先駆けた議会改革を行っているところでございます。

さて、本日は、皆さんにご参加を呼びかけさせていただきまして、堺市の未来を担う高校生、そして大学生の方々をはじめとした総勢39人の方々に、本日ご参加いただいております。本当にありがとうございます。

本日の報告会は、初めに、第1部といたしまして、ここ議場で、私達の方から、議会の仕組みをわかりやすく紹介させていただきます。

続いて、今年度、議員が議会でどんなことを議論してきたのか、そういったところをご報告させていただきます。

その後、皆様からご質問をいただく時間もございますので、わからないことや疑問等ございましたら、本日せっきくの機会でございますので、積極的にご質問いただければと、このように思っております。

続いて、第2部は場所を変えまして、12のグループにわかれまして、皆さんと議員とで直接意見交換を行わせていただきます。

堺市の未来について、我々議員では普段思いつかないような若者らしい斬新な、あるいは日々の生活に基づいたご意見を頂戴できればと、このように思っております。

若い方の政治離れが叫ばれて久しい時代となっておりますが、私達議員は興味・関心を持って参加してくれた皆様とともに直接お話をさせていただき、様々なご意見が、本日聞けることを本当に楽しみにしております。

今回の議会報告会が、ご参加いただいた皆さんにとっても有意義なものになりますよう、心より願

っております。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、吉川敏文議会運営委員長、司会進行をお願いいたします。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 皆さんこんにちは。

私は本日の総合司会進行を務めさせていただきます、本会議の運営等を協議する議会運営委員会の委員長をしております、吉川敏文でございます。

どうかよろしく願いいたします。

堺市議会では、議会基本条例というのを定めまして、市民の皆様が開かれた議会をめざそうということを謳っております。その条例に基づいてこの議会報告会が開催をされているわけでございますけれども、本日も今、議長からございましたようにたくさんの皆様にご参加をいただきました。本当にありがとうございます。

またインターネット中継をご覧いただいている皆様、本当にありがとうございます。

どうかよろしく願いいたします。

それでは早速、本日の進行スケジュールを説明させていただきたいと思います。

スクリーンをご覧いただきたいと思いますが、本日の議会報告会は2部構成で行います。

まず、第1部でございますけれども、議員による議会報告といたしまして、「議会って何？」というテーマで、西川良平議会運営副委員長が説明を行わせていただきます。

その後、引き続きまして、議会の審議報告として、6つの常任委員会があるんですけれども、それぞれの委員長から、今年度のそれぞれの委員会での主な審議内容を中心に説明をさせていただきます。

その後、質疑応答の時間を設けますので、皆さん遠慮なく質問をいただきたいと思います。

そして、第1部が終了いたしますと、この議場で皆さんと一緒に記念撮影を行いますので、よろしく願いをいたします。記念撮影後、第2部は、この下の10階と上の12階の5つの会場で12テーブルにわかれて、意見交換を議員と行っていただきます。

名札の裏にそれぞれ場所が書かれていると思いますのでよろしくお願い致します。そこでのテーマは、例えば、若者が住み続けたいと思うまちってどういうまちかだとか、若い皆さん方の政治参画についてとかいうような、テーブルごとに皆さんが関心のあるテーマを選んでいただきまして、そこで意見交換を行っていただきたいと思います。

意見交換が終了いたしましたら、本日の議会報告会は終了となります。

なお、第2部でも、終了後にですね、それぞれのテーブルで記念撮影を行いますので、よろしくお願い致します。

それではここで私の方から本日の出席議員を紹介したいと思います。

まず、先ほどご挨拶をいたしました議長の的場慎一議員です。

○的場慎一議長 本日はよろしくお願い致します。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 副議長の木畑匡議員です。

○木畑匡副議長 よろしく願い致します。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 議会運営副委員長の西川良平議員です。

- 西川良平議会運営委員会副委員長 本日はよろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 市民人権委員会からは、委員長の米田敏文議員。
- 米田敏文市民人権委員会委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の白江米一議員。
- 白江米一市民人権委員会副委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 産業環境委員会からは、委員長の黒田征樹議員。
- 黒田征樹産業環境委員会委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の大西耕治議員。
- 大西耕治産業環境委員会副委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 建設委員会から委員長の田渕和夫議員。
- 田渕和夫建設委員会委員長 本日はご参加ありがとうございます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の中野貴文議員。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 文教委員会から委員長の西川知己議員。
- 西川知己文教委員会委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の藤本幸子議員。
- 藤本幸子文教委員会副委員長 こんにちは。よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 総務財政委員会から委員長の山口典子議員。
- 山口典子総務財政委員会委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の小野伸也議員。
- 小野伸也総務財政委員会副委員長 はい、よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 健康福祉委員会から、委員長の池尻秀樹議員。
- 池尻秀樹健康福祉委員会委員長 よろしく申し上げます。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 副委員長の札幌泰司議員。
- 札幌泰司健康福祉委員会副委員長 よろしくお願ひいたします。
- 吉川敏文議会運営委員会委員長 ただいまご紹介いたしました議員以外にも、本日は多くの議員が参加をしております。第2部の各テーブルでそれぞれ自己紹介いたしますので、よろしくお願ひいたします。

それでは第1部議員による議会報告を始めたいと思います。まず、イントロダクションとして「議会議って何？」についてご説明をしたいと思いますので、西川良平議会運営副委員長、よろしくお願ひいたします。

## 第1部 議会報告

○西川良平議会運営委員会副委員長 議会報告会に参加の皆様、改めましてこんにちは。

堺市議会の議会運営委員会副委員長の西川良平です。

私からは、そもそも地方議会って何なのか、それを説明させていただきます。

高校生・大学生、学生の皆さんはじめ、わかりやすい説明、わかりやすい内容をと考えて作っておりますので、ご了承ください。

それでは、スライドの2としまして、このまちにはたくさんの方が住んでいます。たくさんというだけでなく、それは実に多様です。

豊かな暮らしをするために、このまちに何が必要かを聞けば、いろんな答えが返ってくるはずです。

生活をするには、道路が必要です。子どもたちの学校もなくてはなりません。保育所だってそうです。本が好きな人には、図書館も大事な施設ですよ。公園で遊びたい子ども、ゆっくり時間を過ごしたいお年寄りもいるでしょう。水道のようなライフラインも忘れてはなりません。

こうした必要なものを皆さんから集めた税金で作ったり、作った施設を運営したりするのが市役所です。

その責任者が市長です。市長がとても大事な仕事であることはおわかりいただけると思います。だから市長は選挙で選びます。ここで一つ疑問があります。選挙で選んだ市長だったら何でも任せてしまっていていいのでしょうか。いや、そうではないはずです。いくら選挙で選ばれた市長でも人間ですから、判断を誤ることもあります。たった1人で、たくさんの市民の多様な思いを把握するのは困難です。この堺市だと80万人以上の市民が暮らしています。

ですから、同じように選挙で選ばれた48人の議員が、多様な視点で市長をチェックし、多様な市民の声を市長や市役所に届けています。

そして、皆さんから集めた税金が、本当に皆さんの豊かな暮らしのために使われるようにしています。

では、皆さんから集めた税金、つまり私達がチェックしているお金がどれくらいなのか説明します。

堺市が、福祉や教育など一般的な事業で使うお金を一般会計といい、その額は、令和5年度の予算で4,328億円です。赤ちゃんからお年寄りまで含めて、市民1人当たり約50万円となります。

今日ここにいる皆さんも含め、1人50万円を、市長と市役所に預けて、使い道を考え、私達がチェックしていると考えれば、その責任の重さ、大事さがわかってもらえるのではないかと思います。

その他、税金ではなく、保険料として集めた特定の事業に使っている特別会計が2,558億円。水道料金として集めて運営している水道下水道の会計、企業会計が913億円あります。

一般会計の歳出、つまり使い道は多い順に、福祉、教育、道路・公園整備などとなっています。

歳入、つまりどういうところからお金を集めたかについては、堺市が直接集めた税金が約3分の1。国や大阪府が集めた税金から、堺市に出す補助金などが約3分の1で多い割合となっております。

市長も市議会も、共に市民から選ばれた市民の代表者です。

市長はお金の使い方について提案・相談し、議会はそれを受けて、いろんな意見を出し、それでい

いかどうかを最終決定します。

例えば今、堺市では、永藤市長が大小路に自動運転バスを走らせる計画を進めようとしています。その計画に必要なお金がどれくらいか、どんな効果を得られるかなどを議会に説明していて、議会は本当に必要なのか、安全なのか、交通不便地への導入ならいいのではないかなど、様々な意見が出ています。

こうして、双方が市民の代表者として緊張感を持ち、バランスを保ちながら、お金の使い方や堺市の方向性を決めたり、仕事ぶりをチェックしたりする仕組みを、二元代表制といいます。

続いて、議会の流れを説明します。

議員全員が出席する本会議に、市長から、例えばこんなふうにお金を使いたいなどと、議案が提出され、内容について説明があり、それに対する質疑が行われます。

議案は実に多岐にわたりますが、専門的に詳しく審査するために、堺市議会では8名ずつに分野ごとに6つの委員会にわかれます。ここでも質疑がなされ、委員会としてその議案に賛成するか、反対するかを決めます。

その後、再び全員が出席する本会議が開かれ、委員会での審査の結果が報告され、議会全体で賛成するか反対するかを決めます。

これが議会としての最終的意思決定となります。ここで初めて市長はそのお金を使ったりできるようになるわけです。

私達が議会で話し合っていること、決めていることは、このようなものです。

条例、つまり、堺市内の法律・ルールを作ることや変えること、お金の使い道、お金が決めたとおりに正しく使われたかの確認、市の仕事が市民のために正しく行われているかの調査、国や大阪府に対して改善してほしいことの見解を出すこと、堺市の大事な立場である副市長や教育長などが、市長が選んだ人でいいのかどうか、そういったことを話し合い、議会として意思決定しています。

続いて、議会の構成です。

堺市は7つの区にわかれて選挙をし、それぞれに選ばれる議員の数が違います。

現在、堺区と北区が9人、西区と南区が8人、中区が7人、東区は5人、美原区が2人です。これはそれぞれの区の人口をもとにして決めています。男女別では男性が41人、女性が7人です。

国会も地方議会も、日本は女性議員の割合が非常に少ないと言われており、政治の場では度々議論になっています。

議会では、考え方の近い人たちで、会派というグループを作って活動しています。

現在、堺市議会では、大阪維新の会堺市議会議員団が18名、公明党堺市議団が11名、自由民主党・市民クラブは7名、堺創志会が5名、日本共産党堺市議会議員団が5名、どの会派にも属さない議員が2名います。

年代別ではご覧のとおりで、最年少議員が、本日時点で31歳、最年長議員が82歳です。

若い方にもっと政治に関心を持ってもらいたいし、この中から自分も議員にと思って挑戦される方が出てくることを期待しています。

次の堺市議会議員選挙は2027年4月の予定です。3年後の4月であります。3年後の4月、そ

の時に18歳を超えている方、恐れ入りますが、挙手してもらえますでしょうか、もう今現在超えている方も含めて。

たくさんいます。はい、ありがとうございます。

有権者となられる方は、ぜひ投票に行ってくださいですし、そうでない方もぜひ、今日をきっかけに、堺市議会に注目していただけたら嬉しく思います。

以上で、「議会って何？」の説明を終わります。ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 西川良平議会運営副委員長ありがとうございました。

少しわかっていただきましたか。「議会って何？」ということですね。

それでは続きまして議会の審議報告として、先ほど申し上げたように6つの常任委員会ごとに一つ一つ、その常任委員会がどういうことを審議をしているのか、今年度どういうことを主に議論したかということを中心に説明をさせていただきたいと思います。まず米田敏文市民人権委員長よろしくお願ひします。

○米田敏文市民人権委員長 よろしくお願ひします。市民人権委員長の米田でございます。

市民人権委員会では、所管部局といたしまして、市民人権局の7つの課と各区役所、危機管理室、消防局などが、我々市民人権委員会の所管の部局となっております。

所管調査事項といたしまして、区行政についてから消防行政についてまで、ここに記載されております10点ぐらいは、調査の事項となっております。

本年度の審議項目でございますが、西区ブランドの発信事業について、各区役所で行われている相談について、電子申請システムについて、行政手続きのオンライン化について、西区長のこれまでの取組について、西区長は公募で選ばれておりますので、このようなこともさせていただいております。区役所における堺市IT戦略に係るDXの推進について、消費者団体控訴制度について、以上が区行政に係る審議項目でございます。

地域活動の促進・市民協働については、今本当に少なくなっております自治会の加入促進について、地域活動のデジタル化について、堺市公認のSNSの活用についてなどを進めさせていただいております。

続きまして本年度の審議項目の2番、防災・減災、危機管理についてですが、正月の1日に発災いたしました石川県能登の地震も本当に皆さんにもお伝えはできていたと思いますが、ものすごい災害となっておりますので、今もお苦しんでおられる方も多々おられるようでございます。

それと、今、堺市も能登の方へ行っておりますが、消防・救急のここに書いております3点も審議項目のうちに入っております。

本年度の審議項目のもう一つ、生涯学習、ダイバーシティ、人権問題、男女共同参画について、パートナーシップ宣誓制度と夫婦別姓、事実婚について、インターネットと人権について、女性に対する暴力をなくす運動の取組について、堺市・大阪府のパートナーシップ宣誓制度について、平和への取組について、この項目で、ただいま市民人権委員会では、質問、また、役所の方と、どのように進めていくかを審議いたしております。

それと、今年度からは、3年ほどありませんでしたが、1月の16日・17日で、神奈川県の大和

市と、神奈川県横須賀市へ視察にも行ってまいりました。消防ドローンの運営について、米軍基地がありますので、ドローンを飛ばすのも難しそうですが、その説明を受けたりいたしました。横須賀では書かない窓口について、もう家でSNS等を使って申請をすれば、役所へ来て何も書かなくて、申請行動が取れる、そのようなことを学んできました。今後またその件についても、堺市で進めていきたいと思っております。

以上で、市民人権委員会の説明を終わらせていただきます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 米田委員長ありがとうございました。

では引き続いて黒田征樹産業環境委員長よりお願いします。

○黒田征樹産業環境委員長 皆さんこんにちは。

産業環境委員会委員長を務めさせていただいております、黒田征樹でございます。

産業環境委員会の所管事項といたしまして、文化観光局、そして環境局、産業振興局、そしてまた農業委員会という、そういったところを所管している委員会であります。先ほど予算の話も少し出ましたけれども、皆さんにより身近な医療、福祉、教育、そういったところを市議会として担っているわけではありますけれども、税を使う話じゃなくて、こっちはどっちかという稼ぎにいく、税収に繋がる、そういったところが主に議論をされています。そんな中で、今年度委員会といたしまして福岡県の方に視察に行つてまいりました。クリーンエネパーク南部というゴミ処理場です。

なぜこの時期にゴミ処理場へ視察に行ったかといいますと、皆さんご承知かもしれませんが、大泉緑地の向かい側にゴミ処理場があります。そこがかなり老朽化してましてですね、建て替えをどうするのか、もしくは現地で建て替えるのか、ということも含めてですね、今いろんな先端の処理場も出ておりますので、そういったところを視察をして、堺にとってどういう処理場をどの場所に作るのかということも勉強するために行つてまいりました。

8月議会での審議事項であります。文化観光局、もうその名のとおりですね、この堺の魅力をしっかりと発信をして観光客の方に来ていただく、そのおもてなしの体制をですね、しっかりと整えていけるのかといった、そういう議論をさせていただいております。

環境局なんですけれども、クビアカツヤカミキリとって、非常に堺市内でも問題になっておりまして、桜の木に主に巣を作って繁殖していくんですけども、その際に木を枯らしてしまうんですね。これがすごい勢いで今広がっておりまして、この対策をどうするのかといったところも議論をしております。

産業振興局、これはもうまさに、この堺にいい企業に来ていただく。そしてその企業が稼いでいけるようにしっかりとサポートをしていくといったような議論をさせていただいております。8月の議会ではそんな感じです。

11月の議会、これも所管している部局が一緒なので似たような議論になるんですけども、ここでは特に産業振興局なんかでいうと、市内企業のDX、デジタルトランスフォーメーション、企業のデジタル化をしっかりと促進していこうであるとか、そういったことも議論をさせていただいております。多岐にわたる所管ではありますけれども、今後もですね、皆さんの意見をいただきながら、この堺がしっかりと発展していくように委員会メンバー、一丸となって取り組んでいきたいというふうに思っておりますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

産業環境委員会からの報告を終わります。ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 黒田委員長ありがとうございました。

次に田淵和夫建設委員長よろしく申し上げます。

○田淵和夫建設委員会委員長 皆さんこんにちは。建設委員長の田淵でございます。隣には中野副委員長、座っております、2人で頑張っております。

まずプレゼンの一つ目ですけれども、まず建設委員会の所管としては、大きく3つあります。一つは建築都市局、一言で言うと、将来、未来のまちをどのように考えデザインしていくかと、そういう部局であります。そういった意味では、例えば身近な堺東のまち、また海辺においては堺浜、今の大きなスポーツのですね、サッカー場がありますけれども、さらなる再生が必要ではないかとか、また歴史文化のまちですね。これをさらにどうしていくのか、こういったところを考え、デザインをし、それを各部局に落としていくっていうような局です。二つ目の建設局、今の他の方もおっしゃいましたけれども、まさにこの道路、そしてまた公園、大きな市民の皆さんの安全安心をさらにどのようにやっていくのかというところの部署であります。なおかつ自転車においては、皆様のご存じのように、今のシェアサイクルということで、スマートフォンで、自由にですね、借りたりできるものを、堺市内では150ポート設置しておりますのでね、これからも観光都市でもあるので、進めていくという部署であります。

三つ目の上下水道局。特に皆さんからは上下ってどういう意味ってよく言われるんですけども、まさに皆さんが飲まれる水ですね、これが上水、で、当然その工業排水も含めて下水、この上水下水を合わせての局で、上下水道というふうになっております。

今も能登半島地震でもね、特に言われてますけれども最も大事なものは、このやっぱり水なんですよ。従って、水を供給するために地震に強いいわゆる耐震管をいかに入れていくのかというのが今大事かなと思っております。

次はそのような中で私達建設委員会としても、一つは建設業界においてもデジタル化が必要であろうということから、広島県に行きました。様々なデータをですね、件数に関するデータをデータベースにしなが、行政だけではなくて、民間の皆さんにも活用していただく、そういう民間の皆さんから、我が社にとってはそういうことを市内の企業として貢献したいというようなことも出てまいります。これは非常にこれからデジタル化するのはどんどん進んでまいります。

2点目は、公園の整備なんですね。これも県がやられる公園でしたから、やはりまず、マネジメント、民間企業によって新たなスポットをいかに作っていくのかということをやっておられました。これを受けまして、堺においても様々な公園のマネジメントをやる必要があるなっていうふう実感をしたところであります。

最後にですね、各区からの様々な取り組みとして、一つはですね、各区におけるまちづくり。今申しあげました中心市街地の堺東、例えば中百舌鳥、こういうところは産業振興が活発になるところであります。そういった意味での各区のまちづくりのあり方について、またSMIプロジェクト、これ堺モビリティという、まさにこの交通の観点からではなくて、歩いて楽しめるまちはどうあるべきなのかということを経々プロジェクトを今提案されてますので議論をしています。公共工事、これまさに



大きなお金がかかっているのです、その適正化がされているのかどうか、これも議論してまいりました。公園の整備、これについても、今、大きな震災のときに、堺市の場合はほとんどの大規模公園にはマンホールトイレというのを設置しております。ところが身近な公園にはまだまだできていない。また夜には暗いところの、例えば防犯灯とか、またカメラとか、そんなものをですね、身近な公園のあり方もさらに、中にはカフェを作って、新たなこの賑わいを作っていくってはどうか、こういう議論をしますし、サイクルシティについても、自転車のまち堺と言われる所以（ゆえん）ですよね。こういったことをしっかりと産業関係、観光関係、あらゆる面から一つの主要産業にもなっているのです、さらに発展していくってはどうか、こんなような議論をしております。

以上でございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 田淵委員長ありがとうございました。

次に西川知己文教委員長よりお願いします。

○西川知己文教委員会委員長 皆さんこんにちは。文教委員会委員長の西川知己と申します。隣には藤本副委員長が座られております。

文教委員会は学校に通う皆様に関わる学校の運営でありますとか、本市の教育政策について主に審議する委員会で、8名の委員が在籍しております。

当委員会が扱う予算の総額は660億594万7000円で、それぞれの学校、図書館、博物館などの公立の学校や文教施設の運営費をはじめ、堺市立の学校で働く先生方をはじめとした職員の方々の人件費、給食にかかる費用、学校教育のICT化や、英語教育推進にかかる費用など教育政策の予算について計上しております。

今年度、我々文教委員会が重点的に取り組んだことの一つとしまして、特別支援学校の狭隘化の対策についてがあります。これは堺市に2校ある特別支援学校のうち、百舌鳥支援学校の児童生徒数が増加したことによって、学校がとても狭くなってしまっているという問題であります。対策として、児童数が減っている中区の宮園小学校の空いた校舎を使って支援学校の分校を設置するという解消案が教育委員会から示されております。

長年課題認識をされてきたものなので、その対策は本当に良い解決策であるのか、よりよい改善点などはないのかというところを、現地を視察するなどして検討してまいっております。

視察の際の文教委員会の委員からの意見としまして、支援学校の教育環境は狭くて良くない環境にある。そういった現状から速やかに対応する必要がある。また、一般的な小学校を特別支援学校にする上で、設備の違い、例えば廊下の広さであるとか、天井の高さとかいろいろ違いがあるんですが、そういった違いを解消するために大がかりな改修が必要であるなどの意見が出ました。今後分校開設のための改修工事が行われる予定ですので引き続き注視していく必要があります。

また8名の各委員会委員がこの1年間取り組んでいる項目としまして、一部抜粋になりますが、部活動の地域連携・地域移行、いじめ暴力防止プログラム、理不尽な校則をなくす、ICT活用、包括的性教育の推進、不登校児童生徒に多様な居場所の提供などの支援の推進、教員の働き方改革、堺に誇りを持てるアイデンティティ教育などがあります。

文教委員会はより良い教育環境を実現するため、こういった議論を行ってまいりました。

以上です。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 西川委員長ありがとうございました。

次に、山口典子総務財政委員長よろしくお願いたします。

○山口典子総務財政委員会委員長 皆さんこんにちは。総務財政委員長の山口です。

総務財政委員会をご覧とおり、総務、財政、税務、総合計画、選挙管理委員会、監査委員、議会事務局などの政策分野を主に担当いたしております。そして、各執行機関が所管する案件を調査・研究し審議しています。

次に所管する事項は主に6つ、それ以外の所管事項もたくさんありますが、まず市長公室、ICTイノベーション推進室、泉北ニューデザイン推進室が所管する事項は、これらのおりになっています。

例えば、この間行われました貿易大臣会合準備ですとか、その成果を問うとか、それからICTイノベーションでは、マイナンバーカードやデジタルトランスフォーメーションの企画など、また、泉北ニューデザインのニュータウンの再生など、そのようなことを所管しています。さらに、総務局が所管する事項として、庁舎管理や職員の人事、働き方改革などについても所管しています。財政局が所管する事項としては、財政や契約、税務、市税事務などを所管しています。

また、堺市選挙管理委員会が所管する事項で、より良い選挙を行うために、投票率を上げるためにどうしたらいいかなど、所管しています。その他、議会事務局や監査委員、人事委員会など、たくさん委員会の所管する事項や、他の常任委員会の所管に属しない事項は全て総務財政委員会で審議しております。

今年度は、本来でしたら年4回総務財政委員会が開かれるんですけども、最初の6月議会の際には今回市長選挙がありましたので、今年は9月議会からスタートとなっています。

9月の総務財政委員会ではこのように企業版ふるさと納税の活用や、男性用トイレのサンタリーボックスの設置、あるいは職員さんの昼休みの休憩時間など、スマートシティの問題についてもたくさん活発な質疑が行われました。

さらに、年末の12月議会では、G7大阪・堺貿易大臣会合の成果、あるいは職員さんの人件費の問題について、またSDGsの推進プラットフォームの取組について、投票における視覚に障害のある方への配慮についてなどを、ここに書いてある以外のことも活発に審議がなされました。特に新しい公共政策の分野から、EBPMの推進についてというような画期的な質問も行われております。

ご存知のとおりEBPMとは、公共政策用語でエビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングということで、全てその場の行き当たりばったりの政策ではなくて、きちんと将来的な見通しのあるエビデンスがある政策を作っていこうという仕組み作りの発言でした。

以上で総務財政委員会のご報告を終わります。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 山口委員長ありがとうございました。

では最後になります、池尻秀樹健康福祉委員長よろしくお願いたします。

○池尻秀樹健康福祉委員会委員長 健康福祉委員会委員長の池尻でございます。

まずは、健康福祉委員会の所管部局をご紹介します。

健康福祉委員会は、健康福祉局、保健医療担当局、子ども青少年局の3つの所管局が担当となります。

その中で、健康福祉局は3つの部から構成されており、一つ目は、社会福祉法人等の指導監督、生活保護などを担当しております生活福祉部、二つ目は、高齢者、介護、国民健康保険、年金等を担当しております長寿社会部、三つ目は、障害者の方にご相談や各種対応しております障害福祉部となります。

続きまして、保健医療担当局は2部でありまして、一つ目は、医療、精神衛生、斎場、衛生研究所などを担当しております健康部、二つ目は、食品衛生、動物指導センター、生活衛生などを担当しております保健所となります。

子ども青少年局は3部でありまして、一つ目は、児童福祉、いじめ対策などを担当しております子ども青少年育成部、二つ目は、保育所、こども園などを担当しております子育て支援部、三つ目は、子ども相談所でありまして、以上、所管部局になります。

続きまして、所管事項であります。地域共生社会の推進、健康長寿の実現、障害者・障害児のサポート、特定健診・がん検診の受診率向上、子どもの貧困・貧困連鎖の解消、社会的養育の推進、子ども虐待防止、待機児童の解消・保護者満足度の向上、保育士確保、以上が主な健康福祉委員会の所管事項となります。

続きまして、今年度の主な審議内容をご紹介します。

8月の定例会の各委員からの質問事項におきましては、こども園と本市の連携について、APDをめぐる必要施策について、加齢性難聴補聴器購入補助について、災害ボランティアセンター設置について、妊産婦への支援について、児童虐待について。

11月の定例会におきましては、少子化を踏まえたこども園のあり方について、子ども青少年局並びに健康福祉局におけるハラスメント及び対策について、地域包括ケアシステムについて、さかい健康プラン案について、認知症支援の仕組みづくりについて、堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定についてなどです。

そして、11月に本委員会で視察に行きました内容で、西東京市では、フレイル予防の取組について、渋谷区では、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的に相談支援を行う機能を有する施設、子育てネウボラなどの内容につきましても質問し、議論いたしております。以上が、健康福祉委員会の説明となります。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 はい、池尻委員長ありがとうございました。

それではこれから皆さんから質問をお受けしたいと思います。全員が発言できないかもしれませんがご了解いただきたいと思います。

なお質問いただくときは、こちらがその座席の番号を申し上げますので、指名されましたら、起立をいただいて質問していただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは皆さん何かご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

30番の方どうぞ。

○参加者（30番） 本日は貴重なお話ありがとうございました。

黒田委員長にご質問なんですけども、地球温暖化といった環境教育については、堺市ではどのような取組をされていますでしょうか。お願いします。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 環境教育についてでよろしいですね。

黒田委員長よろしくをお願いします。

○黒田征樹産業環境委員会委員長 具体的にはですね、ゴミのロスの問題、廃棄の問題とか様々ありますんで、そういったことを教育委員会と連携をしながらですね、様々な情報を共有して小・中学校において行っていただいています。

○参加者（30番） はい、ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 よろしいですか。

あと環境関係の施設を見学したりだとか、そういったことも併せてやってるかと思えます。

それでは他にご質問ある方いらっしゃいますか。どんなことでも結構です。遠慮せずどうぞ。

14番の方どうぞ。

○参加者（14番） 本日は貴重なお話ありがとうございます。

市民人権委員会の方と産業環境委員会の方に質問なんですけど、堺市外に視察を行っているようですが、逆に堺市に視察に来られる市外の方々はどうなのかなどを見ているかと、今後市外にどのようなのところに視察に行きたいのかをお聞かせいただけたらなと思います。よろしくをお願いします。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 それぞれどのようなのところに視察に行きたいか、先に市民人権からお願いします。

○米田敏文市民人権委員会委員長 堺市もドローンは2台ほどあるんですが、大和市には各消防署、堺市やったら、中消防署とか堺消防署とか各区に消防署があるんですが、その消防署にドローンを置いて、火の見櫓のように大和市は使ってるみたいなんですけど、堺市はそこまでできてないのが現状でございまして、本当は人命救出とか災害の時に人を助けるようなドローンなんかも本当は必要やと思うんですが、やはり人ひとりを持ち上げるのは、重量もあれなんで、そこまではまだなかなかいかないかもわかりませんが、それがどういうふうになっているか、堺市で今度どうやって進めていくかということで、大和市の方へは行ってまいりました。書かない役所というのは、堺市ではどうしても受付でいろいろ書いていただいたり、待ち時間というか、役所にいていただく時間がものすごく長いで、時間を削減する取組を、横須賀の方ではしておられたので、それを学んでまいりました。

今後は私1人の意見だけではなく、うちのメンバーで相談させていただいて、今何が必要か、今後どうやっていったらいいのかというのを考えながら、次年度には、またどこかへ視察に行くとは思いますが、今のところはそういう状況でございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 ありがとうございます。

黒田委員長、引き続き今後どのようなのところに視察に行きたいか簡潔にお願いします。

○黒田征樹産業環境委員会委員長 これは私自身の私見になるんですけども、やはり筑波とかあいつたところは産業を非常に産官学連携して発展させていってますのでそういったところ、堺も似たような立地で、中百舌鳥とかであれば、大学・企業そして行政という連携がしっかり図れると思いますので、そういった取組は勉強していきたいなというふうに思ってます。

また、堺市は環境モデル都市として認定されてますので、堺に視察に来られるという話であれば、そういった堺の取組、そしてまた伝統産業会館、今伝匠館という名前になってるんですけどそういったところに視察に来ていただいたりとか、あと利晶の杜、そういったところにも視察に来ていただいていることを聞いてますんで、そういう堺の魅力を、視察を通じてもしっかりと発信できてるのかなというのはありますんで、より一層堺の取組、特に環境についてはですね、先進的な取組をやっていくことによって、より魅力の向上にも繋がるというふうに思ってますんで、そこら辺は力を入れていきたいというふうに考えてます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 ご質問のですね、たくさんの方が堺にも視察にお見えになられてますので、ここは議長からお答えいただきたいと思います。

○的場慎一議長 政令市からは、先般は相模原市からもやって来られまして、第1はですね、堺市が先進的に全国に先駆けて行っているひとり親家庭の支援、これは新たにアプリとか導入しましてですね、こういったところが話題性があるということで、調査に来られたりとか、あとはダブルケアですね、若い方がご両親の介護をしながら自分も子育てしなければならない。ダブルケアの支援についても堺市は挑戦的にいろいろ行ってますのでね、やっぱり全国に先駆けて行っているような施策なんかですと、やっぱり非常に堺に訪れてですね、調査されてる状況かと思えます。

またこの市議会におきましてもですね、今ペーパーレスを導入しております、クラウドシステムを導入しております。

また傍聴席にはですね、この発言がA I技術を用いまして同時にですね、スクリーンにテキストを映し出すシステムなども導入したりとか、様々な先進的な議会の改革に取り組んでおりますので、ぜひともペーパーレスなんか進んでないところはですね、堺市議会に視察に来られて、様々研究しているところです。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 よろしいでしょうか。

○参加者（14番） ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございました。

他、何かご質問ございませんでしょうか。43番の方お願いします。

○参加者（43番） 今回は貴重な時間ありがとうございます。

文教委員会の方に質問なんですけど、個々の委員会が取り組んでいることの中に、新たな学校のあり方ってあるんですけど、興味があるのでどういう構想なのか聞かせてほしいです。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 ありがとうございます。文教委員長お願いします。

○西川知己文教委員会委員長 ご質問いただきありがとうございます。

新たな学校のあり方という議論については今年度というより、昨年度に主に行われてまいりました。少子高齢化がどんどん進んでいく中で、現状の学校の状況・状態を運営の観点についても、保つことができない、そういったところから例えば、こういう学校群で運営を考えていったらいいんじゃないか、であるとか、こういう近くの学校は統廃合をどんどん進めていかなければいけないんですけど、統廃合することによって距離が遠くなりすぎる。そういった問題も出てきますので、そういったところを、今までの常識をとっぱらって、名前のおりなんですけど、新たな学校のあり方をこれまでの

常識とは全然違う観点でいろいろ考えていって、今後もしっかりと継続、持続していけるような、そんな学校のあり方を考えていく、そういったところでございます。

○参加者（43番） ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 18番の方どうぞ。

参加者（18番） お時間ありがとうございます。

文教委員会の方に質問なんですけど、公立中学で、大阪市内の方たちは給食が無償化で、中学校でもあると思うんですけど、なぜ堺市では、給食が中学ではないのですか。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございます。文教委員長お願いします。

○西川知己文教委員会委員長 今何年生ですか。高2ですか。もうちょっとしたら始まるんです。

ほんまにもうちょっとなんです。今の市長が就任して5年目になります。今の市長が今回の選挙、昨年6月に行われたんですけど、その前に行われた選挙の時に、中学校給食を全員喫食で始めると、そういう選挙の公約で、有権者の方々にお選びをいただいて、選挙に通らせていただいたんですね。そこから急ピッチに進めて令和7年から始まります。もうちょっとだけ待ってください。

○参加者（18番） ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 引き続いて34番の方、どうぞ。

○参加者（34番） 本日は貴重なお話をさせていただきありがとうございます。

建設委員長の田淵さんに質問です。サイクルシティ堺という計画を私自身初めて知ったんですけど、友達とよく自転車で堺市ぶらぶらして、たまにサッカーするみたいなことを最近ハマってるんですけど、本当にそういった部分で堺市は自転車のまちというか、自転車で楽しめるまちだと思うんですね。そういったところで、自転車の補助金というか、保障制度を小中高とか若い人にすすめることによって、そのまちに若い人が、家から出てきて楽しめるようなまちづくりも大事だと思うんですけど、補助金とかはないのですか。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 ありがとうございます。田淵建設委員長、お願いします。

○田淵和夫建設委員会委員長 非常に具体的なご質問ありがとうございました。できましたら、次の委員会に、そういうテーマも委員の方から上がってくるのかなと思っております。具体的にシェアサイクルは、本当に身近な150ポートの設置場所があって、それを利用しやすいようになってきてます。補助金というのは例えば過去には安全運転講習会とかBMW体験とか、様々なそういう安全、また自転車を利用していただきやすいような制度なんですけれども、以前には2人乗りをするときの自転車への補助とか、ただ今おっしゃってるのは、もっと広くですね、中・高校生の方に利用していただきたいような、その制度をですね、これまた研究検討してまいりたいと思っております。

いずれにしても堺のまちをこれからもより良くやってまいりたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。

参加者（34番） ありがとうございます。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 あとサイクルロードを作ったりとかですね、いろんな取組もやっておりますので、またご覧ください。

他ございませんでしょうか。はい、39番の方お願いします。

○参加者（39番） 本日はすごくわかりやすい説明ありがとうございます。

市民人権委員と女性議員にちょっとお聞きしたいんですけど、男女共同参画についてうたっているにもかかわらず、48人中7人が女性議員というこの状況について、市民人権委員としてはどういう考えをお持ちなのかと、女性議員については不公平感はないのかということをお聞きしたいです。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 ありがとうございます。まず市民人権委員長からお願いします。

○米田敏文市民人権委員会委員長 選挙もあることなんで、立候補をしていただかないと、どうしても議議員になれないというところがありますんで、女性の方にもっと立候補していただけるように進めていった方がいいんじゃないかと。私の口から女性の方に、あなた立候補しなさいなんてなかなか言えませんので、やはり女性の議員が増えていくためには、女性の方に立候補していただかないと、議員になれないということをお答えしたいと思います。以上です。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 女性委員として藤本委員どうですか。

○藤本幸子文教委員会副委員長 ご質問ありがとうございます。やはり議会活動というものを、もっと女性が参加しやすいような改革も必要かなというふうに考えています。

今そういう点で言いますと、議会力向上会議という中で、オンラインでの委員会出席というものも議論をしてきまして、例えば育児や介護などを担う方が自宅からオンラインでの委員会参加というようなこともできるようにという議論はこれまでも進められてきました。

やはり女性が、人生のステージの中で、様々な議会での活動が難しいというような、その要因を取り除いていくということも、これからもっともっと議論してやっていくことが必要かなというふうに感じています。

私自身も議会の中でそういった役割を果たしていきたいというふうに考えています。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 もうお一方、山口典子議員、よろしくお願いします。

○山口典子総務財政委員会委員長 いい質問いただいてありがとうございます。

不公平感はないかって言われたら、もうめちゃくちゃ不公平感あります。私は昨年フランスへ行ってきましたが、フランスの国会は女性議員がもうきっちり半分います。そういう国は何が違うかというのと、やっぱり政策の優先順位が変わってくるんです。なぜ日本で女性議員が増えないか、これはもうやっぱり男女の役割の固定観念、これがものすごく大きいこと、そして女性の社会進出や女性活躍って口では言ってるけれども、実際日々の生活の中で女性が議員に立候補するには、もう本当に大きな障壁がたくさんあるということ。これを一つ一つみんなで教育の水準から課題解決をしていきたいと思っております。SDGsも5番目に目標がありますけれども、何ととっても5番目じゃなくてSDGsの本当に根幹にあるのは、世界中で全ての女性の平等が保証されなければ、それは人類にとって死活的、最重要課題であるということが書かれていますので、いい質問いただいてありがとうございます。皆さんと共に頑張りたいと思います。

ぜひ女性の参加者の方、立候補してください。お願いします。

○吉川敏文議会運営委員会委員長 はい、すいません。他にもご質問あるかと思うんですけども、ちょっと時間が既にかなりオーバーしておりまして、この辺りで質問を終了させていただきたいと思っております。